

(別紙1)

事業報告書(様式)

1 借受・転貸状況

(1)28年度の借受・転貸面積

	3月末までに 権利発生したもの (※2)	左記以外で3月末までに 公告したもの (※3)
借受面積	1,278	0
転貸面積(※1)	1,404	0
うち新規集積面積(※1)	343	—

※1:「転貸面積」、「うち新規集積面積」には、過年度に機構が借り入れて、当年度に転貸したものを含む。
「うち新規集積面積」には、特定農作業受託により既に担い手が農作業を行っていた農地は含まれない。

※2: 過年度に農用地利用集積計画を公告したもので、当年度に権利発生したものと及び
過年度に農用地利用配分計画を認可公告したもので、当年度に権利発生したものを含む。

※3: 当年度の3月末までに公告し、翌年度に権利発生するものを記載すること。
なお、公告は、「借受面積」については、農用地利用集積計画を公告したもの、
「転貸面積」については、農用地利用配分計画を認可公告したものととする。

(2)累計(29年3月末時点)

	累計 (ストック)
借受面積(①)	14,360
うち転貸面積(②)	14,271
うち新規集積面積	1,264
うち機構が管理している面積	100
うち作業委託で管理している面積	0
うち条件整備中の面積	0
転貸率②/①	99

※3月末までに権利発生したものを記載すること。

2 転貸先の状況(28年度事業分)

転貸先	経営体数	転貸面積
(1) 地域内の農業者	183	1,284
① 認定農業者	181	1,276
うち個人	125	613
うち法人	56	663
うち企業	44	347
② 認定新規就農者	0	0
③ 基本構想水準到達者	1	2
④ 今後育成すべき農業者	1	6
⑤ 認定農業者等以外の農外から参入した企業	0	0
⑥ その他	0	0
(2) 地域外からの参入者	13	120
うち法人	5	97
うち企業	4	88
新規参入	4	155
① 個人	1	3
② 法人	3	152
うち企業	0	0
(1)+(2)の合計(※2)	196	1,404

転貸を受けた者の農地の状況	転貸前	転貸後
平均経営面積	26.4	29.4
平均団地(連続して作業ができるほ場)数	3.5	3.8
1団地の平均面積	7.5	7.7

※1: 担い手の範囲には集落営農経営も含めるが、転貸先とはならないため、本表では不掲載。

※2: 経営体数の欄は、複数地域で農地の転貸を受け、各地域で計上され重複している経営体であっても、1つの経営体としてカウントすること。

3 担い手への集積の状況

	機構設立前	最新時点
耕地面積(※)(①)	1,151,000	1,146,244
担い手の利用面積(②)	996,500	1,034,289
担い手への集積率 ②/①	86.6%	90.2%

※農林水産統計の各都道府県の「耕地面積」を用いること。

4 市町村別(又は地域別)の借受・転貸状況及び担い手への集積の状況 別表のとおり

5 経費等の状況(28年度事業分)

賃料支払	560,493,716
賃料収入	560,493,716
差引賃料支払	0
管理・保全費支払	0
条件整備費支払 (土地改良区への支払)	0
運営費支払	123,504,507
業務委託支払	16,608,640
合計	140,113,147
単年度借入面積1ha当たりの単価	109,635
累計借入面積1ha当たりの単価	31,943

条件整備費借入	0
新規借入	0
返済	0
借入残額	0

6 優良事例

(1) 効率的・効果的に進んでいる市町村・地域の例とその要因

- ・上川町東雲地区を中心として広範囲に展開する複合経営体を設立し農地を集積することで、町内全域で懸念されている高齢化や農業後継者の不足による農家戸数の減少に対応した中核的担い手法人として、6次産業化や新規雇用就農の受入なども見込みながら強い農業基盤を確立

(2) 機構自身の創意工夫

- ・北海道と連携し、重点実施区域として設定した市町村のうち、事業の実施率が低調な17市町村を訪問し、事業メリットや活用方法等について意見交換を実施

- ・北海道及び北海道農政事務所と連携し、担い手への農地集積率が低い道南、日胆地域を中心とした24市町村を訪問し、担い手の状況や人・農地プランの見直し、事業の活用に向けた取組み等について意見交換を実施

(別表)

28年度版
(単位:ha、%)

市町村	機構 借受面積 (ストック) ①	機構 転貸面積 (ストック) ②	②/①	耕地 面積 ③	担い手 利用面積 ④	④/③
江別市	10.3	10.3	100.0	7,070	6,320	89.4
千歳市	4.5	4.5	100.0	5,850	5,629	96.2
石狩市	146.3	98.4	67.3	5,570	4,173	74.9
岩見沢市	84.6	84.6	100.0	19,800	18,729	94.6
美唄市	2.4	2.4	100.0	9,420	8,679	92.1
三笠市	11.2	11.2	100.0	1,340	995	74.2
砂川市	30.0	30.0	100.0	1,520	1,130	74.3
深川市	578.1	578.1	100.0	11,500	11,257	97.9
長沼町	2.3	2.3	100.0	11,200	9,961	88.9
栗山町	4.4	4.4	100.0	5,920	5,208	88.0
月形町	20.2	20.2	100.0	3,110	2,835	91.1
新十津川町	98.0	98.0	100.0	5,390	5,062	93.9
雨竜町	9.0	9.0	100.0	3,530	3,384	95.9
北竜町	68.0	68.0	100.0	3,200	3,215	100.5
北斗市	11.3	11.3	100.0	4,270	3,351	78.5
七飯町	2.3	2.3	100.0	3,000	1,988	66.3
森町	2.3	2.3	100.0	2,620	2,469	94.3
八雲町	152.7	152.7	100.0	6,680	5,596	83.8
長万部町	130.1	130.1	100.0	2,470	1,903	77.0
上ノ国町	0.6	0.6	100.0	1,040	600	57.7
厚沢部町	14.7	14.7	100.0	3,950	3,092	78.3
せたな町	0.9	0.9	100.0	5,950	5,383	90.5
小樽市	1.2	1.2	100.0	193	27	13.8
黒松内町	11.0	11.0	100.0	3,450	2,461	71.3
蘭越町	65.7	65.7	100.0	4,030	3,664	90.9
二セコ町	4.9	4.9	100.0	2,740	2,137	78.0
喜茂別町	36.6	36.6	100.0	1,250	987	79.0
京極町	2.3	2.3	100.0	2,540	2,179	85.8
共和町	8.7	8.7	100.0	5,140	4,798	93.4
岩内町	5.0	5.0	100.0	350	228	65.2
豊浦町	11.6	11.6	100.0	1,930	1,481	76.7
厚真町	49.1	49.1	100.0	5,700	5,133	90.0
安平町	16.8	16.8	100.0	7,460	5,810	77.9
むかわ町	43.9	43.9	100.0	6,690	6,270	93.7
日高町	17.6	17.6	100.0	9,450	7,354	77.8
浦河町	30.6	30.6	100.0	5,480	3,626	66.2
新ひだか町	2.5	2.5	100.0	9,180	5,583	60.8
音更町	222.0	222.0	100.0	24,300	22,403	92.2
士幌町	296.3	296.3	100.0	16,000	15,011	93.8
上士幌町	91.1	91.1	100.0	11,200	9,246	82.6
鹿追町	118.7	118.7	100.0	12,200	11,762	96.4
新得町	28.5	28.5	100.0	6,520	4,962	76.1
清水町	100.5	100.5	100.0	14,900	13,601	91.3
芽室町	314.9	314.9	100.0	21,400	20,391	95.3
更別村	109.8	109.8	100.0	11,500	11,775	102.4
大樹町	806.0	806.0	100.0	14,200	11,932	84.0
広尾町	73.9	73.9	100.0	6,210	5,732	92.3
幕別町	62.8	62.8	100.0	22,500	21,280	94.6
池田町	32.7	32.7	100.0	9,520	7,258	76.2
豊頃町	205.4	205.4	100.0	11,500	9,947	86.5
足寄町	35.8	35.8	100.0	13,400	11,053	82.5

市町村	機構 借受面積 (ストック) ①	機構 転貸面積 (ストック) ②	②/①	耕地 面積 ③	担い手 利用面積 ④	④/③
浦幌町	195.4	195.4	100.0	11,300	9,731	86.1
釧路市	65.9	65.9	100.0	10,500	8,454	80.5
浜中町	250.7	250.7	100.0	14,700	15,999	108.8
標茶町	690.0	661.2	95.8	28,900	22,801	78.9
白糠町	29.2	29.2	100.0	4,790	4,213	87.9
別海町	30.1	30.1	100.0	63,500	64,107	101.0
北見市	470.9	470.9	100.0	23,900	21,675	90.7
網走市	191.0	191.0	100.0	14,000	13,526	96.6
紋別市	231.4	231.4	100.0	8,540	7,025	82.3
斜里町	111.8	111.8	100.0	10,700	11,067	103.4
清里町	32.4	32.4	100.0	9,090	8,438	92.8
小清水町	31.4	31.4	100.0	10,400	10,374	99.8
訓子府町	144.4	144.4	100.0	7,060	6,726	95.3
置戸町	658.0	658.0	100.0	4,820	4,531	94.0
佐呂間町	144.8	144.8	100.0	7,500	6,906	92.1
遠軽町	66.1	66.1	100.0	7,710	6,024	78.1
湧別町	135.3	135.3	100.0	11,000	9,652	87.7
滝上町	152.1	152.1	100.0	3,640	3,446	94.7
興部町	1,261.0	1,261.0	100.0	6,340	5,279	83.3
西興部村	7.1	7.1	100.0	1,640	1,350	82.3
旭川市	204.5	198.2	96.9	13,800	12,272	88.9
士別市	23.4	23.4	100.0	16,700	14,837	88.8
鷹栖町	114.9	114.9	100.0	4,330	4,136	95.5
当麻町	35.3	33.8	95.8	4,380	3,660	83.6
比布町	3.4	3.4	100.0	2,570	2,100	81.7
愛別町	344.4	339.4	98.5	1,830	1,701	93.0
上川町	68.6	68.6	100.0	2,310	1,950	84.4
東川町	64.6	64.6	100.0	3,560	3,430	96.4
上富良野町	16.0	16.0	100.0	6,410	6,439	100.4
下川町	5.8	5.8	100.0	3,620	2,647	73.1
美深町	84.9	84.9	100.0	5,010	4,151	82.8
幌加内町	275.7	275.7	100.0	4,610	4,581	99.4
稚内市	500.6	500.6	100.0	14,700	15,265	103.8
浜頓別町	1,949.3	1,949.3	100.0	5,920	6,300	106.4
中頓別町	132.0	132.0	100.0	3,690	3,200	86.7
豊富町	735.7	735.7	100.0	13,300	12,162	91.4
苫前町	711.3	711.3	100.0	3,260	3,363	103.2
初山別村	0.8	0.8	100.0	1,750	1,744	99.7
計	14,360.3	14,270.8	99.4	757,113	684,305	90.4

【摘要】

- ①と②の差、89.5haは、29年4月と5月に利用配分計画の認可を受ける予定の28年度借受面積の分。
- 厚真町の①には、平成26年度実績で、換地処分後の面積12,098.00㎡で集計したものを、換地処分前の公簿面積15,650.00㎡に置き換えて集計し直したものを含む。
- 広尾町の①からは、27.8.7に合意解約した106,180.00㎡を除外。
- 愛別町の①からは、27.11.18に合意解約した61,040.00㎡を除外。

1 貸 借 対 照 表

平成29年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 預金	1,155,814,898	1,099,763,734	56,051,164
(2) 事業未収金	364,202,715	327,852,915	36,349,800
(3) 有価証券	4,780,000,000	4,970,000,000	-190,000,000
(4) 棚卸資産			
農用地	59,783,995,729	61,148,462,020	-1,364,466,291
合理化譲渡施設	337,112,670	239,792,340	97,320,330
合理化譲渡施設引当金	-49,758,330	-51,611,460	1,853,130
農場リース譲渡施設	1,416,225,753	1,080,823,927	335,401,826
農場リース譲渡引当金	-84,327,000	-78,580,000	-5,747,000
経構リース譲渡施設	85,360,800	85,360,800	0
経構リース譲渡引当金	-51,206,400	-46,939,200	-4,267,200
貸付牛	1,586,763,382	1,541,627,563	45,135,819
育成牛	472,433,988	383,366,273	89,067,715
未成工事支出金	6,077,059	2,705,888	3,371,171
広域譲渡施設	0	81,913,233	-81,913,233
広域譲渡施設引当金	0	-73,725,233	73,725,233
貯蔵品	7,196,873	6,628,691	568,182
棚卸資産計	63,509,874,524	64,319,824,842	-809,950,318
(5) 職員貸付金	52,794,380	56,256,222	-3,461,842
(6) 前払費用	19,740,781	12,334,765	7,406,016
(7) 未収収益	9,801,777	10,249,173	-447,396
流動資産合計	69,892,229,075	70,796,281,651	-904,052,576
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産運用預金	253,990,000	253,990,000	0
基本財産合計	253,990,000	253,990,000	0
(2) 特定資産			
特定資産運用預金			
開発基金運用預金	190,000,000	190,000,000	0
機械整備基金運用預金	649,073,924	650,914,379	-1,840,455
体制強化基金運用預金	500,000,000	500,000,000	0
農業法人資金運用預金	100,000,000	100,000,000	0
農業経営基金運用預金	300,000,000	300,000,000	0
農地売買円滑化積立運用預金	12,622,070	23,955,300	-11,333,230
退職給付引当金運用預金	1,393,253,500	1,552,994,900	-159,741,400
寄託金(開発基金)運用預金	453,600,000	453,600,000	0
寄託金(農業経営基金)運用預金	100,000,000	100,000,000	0
就農支援資金貸倒引当金運用預金	36,486,000	39,140,000	-2,654,000
就農啓発基金運用預金	46,979,709	51,347,557	-4,367,848
農場リース事業貸付金運用預金	0	1,502,070	-1,502,070
農業青年海外派遣等事業資金運用預金	22,060,588	22,060,588	0
経営規模拡大支援強化運用預金	37,000,000	37,000,000	0
特定資産運用預金計	3,841,075,791	4,022,514,794	-181,439,003
特定資産合計	3,841,075,791	4,022,514,794	-181,439,003
(3) その他固定資産			
建物構築物	503,713,968	528,340,557	-24,626,589
農業開発機械	323,776,300	316,604,633	7,171,667
機械器具	13,112,774	12,518,810	593,964
車輛運搬具	7,396,907	7,221,707	175,200
什器・備品	6,884,399	6,340,215	544,184

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
繁殖素牛	13,775,041	3,968,394	9,806,647
土地	557,951,548	557,951,548	0
電話加入権	3,896,484	3,896,484	0
ソフトウェア	0	32,200	-32,200
長期前払費用	38,269,024	39,735,753	-1,466,729
長期未収収益			
未収管理料	31,915,218	26,468,078	5,447,140
貸付牛未収利息	2,223,212	4,761,864	-2,538,652
出資金(外部出資)	11,980,000	11,980,000	0
差入保証金	7,745,640	7,829,640	-84,000
農地等現物出資	232,693,000	259,307,000	-26,614,000
法人金銭出資	2,750,000	3,300,000	-550,000
就農支援資金貸付金	2,790,326,000	3,233,144,000	-442,818,000
就農支援資金貸倒引当金	-36,486,000	-39,140,000	2,654,000
長期未収金	128,072,804	134,989,538	-6,916,734
貸倒引当金	-111,880,997	-109,089,190	-2,791,807
その他固定資産合計	4,528,115,322	5,010,161,231	-482,045,909
固定資産合計	8,623,181,113	9,286,666,025	-663,484,912
資産合計	78,515,410,188	80,082,947,676	-1,567,537,488

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
II 負債の部			
1. 流動負債			
(1) 1年内返済予定長期借入金	8,511,710,333	7,723,097,933	788,612,400
(2) 未払金	500,368,525	471,683,989	28,684,536
(3) 諸預り金	21,580,875	21,803,888	-223,013
(4) 事業預り金	12,625,000	15,424,000	-2,799,000
(5) 前受収益	10,866,891	10,518,414	348,477
(6) 1年内家畜譲渡予納金	158,755,271	113,346,207	45,409,064
(7) 工事補償引当金	50,795,000	47,970,000	2,825,000
流動負債合計	9,266,701,895	8,403,844,431	862,857,464
2. 固定負債			
(1) 事業借入金			
合理化事業借入金	48,206,426,520	50,021,987,590	-1,815,561,070
法人出資事業借入金	208,279,000	235,443,000	-27,164,000
経構リース事業借入金	29,887,200	34,154,400	-4,267,200
農村施設事業借入金	11,400,000	15,200,000	-3,800,000
畜産振興事業借入金	804,125,863	604,965,920	199,159,943
就農支援資金貸付事業借入金	2,748,213,425	3,181,526,318	-433,312,893
事業借入金計	52,008,332,008	54,093,277,228	-2,084,945,220
(2) 家畜仮受補助金	76,565,399	102,006,092	-25,440,693
(3) 家畜譲渡予納金	215,402,359	183,327,294	32,075,065
(4) 担い手対策前受金	3,792,073,730	4,036,133,130	-244,059,400
(5) 円滑化担い手対策前受金	12,622,070	23,955,300	-11,333,230
(6) 役員退職慰労引当金	16,619,500	48,350,900	-31,731,400
(7) 退職給付引当金	1,376,634,000	1,504,644,000	-128,010,000
(8) 資産除去債務	33,063,845	0	33,063,845
(9) 寄託金	553,600,000	553,600,000	0
固定負債合計	58,084,912,911	60,545,293,944	-2,460,381,033
負債合計	67,351,614,806	68,949,138,375	-1,597,523,569
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
基本財産	203,990,000	203,990,000	0
指定正味財産合計	203,990,000	203,990,000	0
(うち基本財産への充当額)	(203,990,000)	(203,990,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	10,959,805,382	10,929,819,301	29,986,081
(うち基本財産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,845,114,221)	(1,852,824,594)	(-7,710,373)
正味財産合計	11,163,795,382	11,133,809,301	29,986,081
負債及び正味財産合計	78,515,410,188	80,082,947,676	-1,567,537,488

平成28年度農地中間管理事業の収支決算書

公益財団法人 北海道農業公社

1 収入の部

(単位:円)

区 分	平成28年度予算額	平成28年度決算額	比較増減		備考
			増	減	
・貸付料	552,530,000	560,493,716	7,963,716		
・手数料	9,300,000	9,218,546		81,454	
・補助金	272,939,000	140,113,147		132,825,853	
(1) 農地中間管理機構運営事業	227,939,000	140,113,147		87,825,853	
(2) 借受農地管理等事業	45,000,000	0		45,000,000	
・その他(公社負担)	15,009,000	17,833,326	2,824,326		
合 計	849,778,000	727,658,735		122,119,265	

1 支出の部

(単位:円)

区 分	平成28年度予算額	平成28年度決算額	比較増減		備考
			増	減	
・農地中間管理事業推進費	227,939,000	140,113,147		87,825,853	
(1) 事業運営費	159,257,000	123,358,657		35,898,343	
(2) 評価委員会運営費	180,000	145,850		34,150	
(3) 委託業務費	68,502,000	16,608,640		51,893,360	
・借受農地管理等事業費	29,000,000	0		29,000,000	
・賃料	568,530,000	560,493,716		8,036,284	
・農地中間管理費	24,309,000	27,051,872	2,742,872		
合 計	849,778,000	727,658,735		122,119,265	

※共通経費を除く

6 財 産 目 録

平成29年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	預金	北海道信連 本所 84,491,207 円	運転資金(普通預金)		
		北洋銀行 札幌駅南口支店 6,963,236 円	同上		
		札幌北五条中郵便局 3,140,251 円	同上		
		北海道銀行 札幌駅前支店 728,119 円	同上		
		農林中央金庫 札幌支店 758,222 円	同上		
		北海道銀行 岩見沢支店 768,109 円	同上		
		北洋銀行 大雪通支店 58,115 円	同上		
		旭川三条郵便局 旭川支店 958,777 円	同上		
		東神楽農業協同組合 函館支店 866,402 円	同上		
		新函館農業協同組合 五稜郭公園支店 7,394 円	同上		
		北洋銀行 苫小牧支所 397,885 円	同上		
		とまこまい、広域農業協同組合 苫小牧中央支店 1,048,816 円	同上		
		北洋銀行 帯広中央支店 103,822 円	同上		
		北洋銀行 帯広市川西農業協同組合 帯広中央支店 48,205 円	同上		
		北洋銀行 釧路中央支店 377,885 円	同上		
		釧路駅前郵便局 釧路中央支店 491,043 円	同上		
		中標津町農業協同組合 本所 277,382 円	同上		
		北洋銀行 中標津支店 170,658 円	同上		
		北見信用金庫 西支店 331,628 円	同上		
		北洋銀行 北見中央支店 693,829 円	同上		
		稚内農業協同組合 本所 129,362 円	同上		
		北洋銀行 稚内支店 933,217 円	同上		
		大樹町農業協同組合 本所 182,246 円	同上		
		北海道信連 本所 1,062,776 円	同上		
		北海道信連 本所 2 口座 140,000,000 円	運転資金(通知預金)		
		北海道信連 本所 1 口座 17,700,000 円	公益目的保有財産(通知預金)		
		北海道信連 本所 1 口座 439,926,000 円	農地売買等事業買入資金(通知預金)		
		北海道信連 本所 32,240,686 円	農業担い手育成確保事業資金(決済用預金)		
		北海道銀行 道庁支店 14,737,624 円	同上		
		北洋銀行 札幌駅南口支店 1,733,086 円	農業青年海外派遣等事業資金(普通預金)		
		北海道信連 本所 391,863,916 円	就農支援貸付事業資金(決済用預金)		
		北海道信連 本所 12,625,000 円	青年就農給付金(準備型)事業資金(決済用預金)		
			<預金計>		1,155,814,898
		事業未収金	北海道立農業大学校外 364,202,715 円	農大委託業務に係る委託費外	364,202,715
				<事業未収金計>	364,202,715
		有価証券	北海道信連 本所 25 口座 4,780,000,000 円	運転資金(譲渡性預金)	4,780,000,000
				<有価証券計>	4,780,000,000
		棚卸資産	長期育成事業 足寄町 31,070,000 円	農地売買等事業に係る保有農地	31,070,000
		農用地	担い手支援5年事業(売買円滑化事業) 秩父別町外 8市町村 351,099,729 円	同上	351,099,729
			担い手支援5年事業 江別市外 119市町村 30,342,602,000 円	同上	30,342,602,000
			担い手支援10年事業 江別市外 92市町村 29,059,224,000 円	同上	29,059,224,000
			合理化譲渡施設 担い手支援5年事業 函館市外 337,112,670 円	同上	337,112,670
		合理化譲渡施設引当金	担い手支援5年事業 函館市外 -49,758,330 円	農地売買等事業に係る保有施設の評価性引当金	-49,758,330
		農場リース譲渡施設	公社営農場リース事業	公社営農場リース事業に係る保有施設整備	
			平成25年度 10 件 111,268,000 円		
平成26年度 10 件 153,028,880 円					
平成27年度 9 件 139,265,120 円					
平成28年度 15 件 213,644,089 円			617,206,089		
農場リース乳用牛貸付事業	農場リース乳用牛貸付事業に係る保有貸付牛				
平成25年度 443 頭 139,508,293 円					
平成26年度 448 頭 154,413,563 円					
平成27年度 412 頭 134,851,071 円					
平成28年度 814 頭 370,246,737 円		799,019,664			
農場リース譲渡引当金	公社営農場リース事業	公社営農場リース事業に係る保有施設の評価性引当金			
	平成25年度 10 件 -38,640,000 円				
	平成26年度 10 件 -31,660,000 円				
	平成27年度 9 件 -14,027,000 円		-84,327,000		
経構リース譲渡施設	経営構造改革緊急加速リース支援事業 平成17年度 1 地区 85,360,800 円	経営構造改革緊急加速リース支援事業に係る保有施設	85,360,800		
経構リース譲渡引当金	経営構造改革緊急加速リース支援事業 平成17年度 1 地区 -51,206,400 円	経営構造改革緊急加速リース支援事業に係る保有施設の評価性引当金	-51,206,400		
貸付牛	公社牛貸付事業	公社牛貸付事業に係る保有乳用牛			
	平成25年度 272 頭 140,536,282 円				
	平成26年度 309 頭 160,625,048 円				
	平成27年度 214 頭 125,741,276 円				
	平成28年度 96 頭 66,912,815 円		493,815,421		
	優良肉用牛貸付事業	優良肉用牛貸付事業(補助型)に係る保有肉用牛繁殖雌牛			
	平成25年度 366 頭 200,205,018 円				
	平成26年度 365 頭 219,870,795 円				
	平成27年度 384 頭 267,754,336 円				
	平成28年度 346 頭 311,097,149 円		998,927,298		
	公社優良肉用牛貸付事業	公社優良肉用牛貸付事業に係る保有肉用牛繁殖			
	平成24年度 183 頭 86,283,243 円				
平成25年度 16 頭 7,737,420 円		94,020,663			

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等			使用目的等		金額		
育成牛	乳肉牛育成事業 ホルスタイン 和牛雌繁殖 和牛雌肥育 和牛去勢肥育	808	頭	447,916,154	円	乳肉牛育成事業に係る保有乳肉用牛	472,433,988		
		20	頭	2,628,642	円				
		34	頭	12,533,426	円				
		39	頭	9,355,766	円				
				6,077,059	円				
	未成工事支出金				6,077,059	円	草地更新支援工事の分割施工料	6,077,059	
	貯蔵品	開発機械部品 畜産飼料 畜産牛精液 衛生薬品			1,095,852 1,894,867 1,886,387 2,319,767	円	農業用機械修理部品及び乳肉牛育成事業用飼料、精液、薬品	7,196,873	
職員貸付金						職員に対する厚生資金貸付金	52,794,380		
前払費用						借上公宅4月分家賃外	19,740,781		
未収収益						金融機関の期日未到来受取利息	9,801,777		
流動資産合計							69,892,229,075		
(固定資産)									
基本財産	基本財産運用預金	北海道信連	本所	3	口座	253,990,000	円	運用益を管理運営費の財源として使用(譲渡性預金、大口定期預金)	253,990,000
								<基本財産計>	253,990,000
特定資産	特定資産運用預金	北海道信連	本所	1	口座	190,000,000	円	運用益を農用地開発整備事業及び農村施設整備事業の財源として使用(大口定期預金)	190,000,000
	開発基金運用預金								190,000,000
	機械整備基金運用預金	北海道信連	本所	3	口座	649,073,924	円	農業開発機械の更新等の財源として使用(譲渡性預金、大口定期預金)	649,073,924
	体制強化基金運用預金	北海道信連	本所	1	口座	500,000,000	円	公益目的保有財産であり、運用益を農地保有合理化事業の財源として使用(譲渡性預金)	500,000,000
	農業法人資金運用預金	北海道信連	本所	1	口座	100,000,000	円	公益目的保有財産であり、運用益を農業生産法人出資育成事業の財源として使用(譲渡性預金)	100,000,000
	農業経営基金運用預金	北海道信連	本所	1	口座	300,000,000	円	公益目的保有財産であり、運用益を公社営農場リース事業の財源として使用(大口定期預金)	300,000,000
	農地売買円滑化積立運用預金	北海道信連	本所	1	口座	12,622,070	円	時価売渡価格差損補填の財源として使用(大口定期預金)	12,622,070
	退職給付引当金運用預金	北海道信連	本所	8	口座	1,393,253,500	円	役員に対する退職金の支払いに備えるために保有(譲渡性預金、大口定期預金)	1,393,253,500
	寄託金(開発基金)運用預金	北海道信連	本所	2	口座	453,600,000	円	運用益を農用地開発整備事業及び農村施設整備事業の財源として使用(譲渡性預金、大口定期預金)	453,600,000
	寄託金(農業経営基金)運用預金	北海道信連	本所	1	口座	100,000,000	円	運用益を公社営農場リース事業の財源として使用(譲渡性預金)	100,000,000
	就農支援資金貸倒引当金運用預金	北海道信連	本所	1	口座	36,486,000	円	就農支援資金貸付事業において貸倒に備えるために保有(決済用預金)	36,486,000
	就農啓発基金運用預金	北海道信連	本所	1	口座	46,979,709	円	新規就農優良農業経営者表彰事業及び研修生受入環境整備支援事業において事業実施を図るための財源として使用(決済用預金)	46,979,709
	農業青年海外派遣等事業資金運用預金	北海道信連	本所	2	口座	22,060,588	円	農業青年海外派遣等事業において事業の円滑な運営確保を図る財源として使用(大口定期預金)	22,060,588
	経営規模拡大支援強化運用預金	北海道信連	本所	1	口座	37,000,000	円	農地中間管理事業、農地保有合理化等事業及び農村施設整備事業の拡充に伴い業務体制の強化を図るための財源として使用(通知預金)	37,000,000
								<特定資産運用預金計>	3,841,075,791
								<特定資産計>	3,841,075,791
その他固定資産	建物構築物								
	整備工場	17	件	81,189,018	円	農用地開発事業用機械整備工場			
	格納庫	10	件	19,263,919	円	農用地開発事業用機械格納庫			
	車庫	7	件	3,048,952	円	公社事務所用車庫			
	事務所	9	件	173,746,493	円	公社事務所			
	住宅	27	件	23,963,470	円	公社職員公宅			
	構築物	42	件	88,956,329	円	牧場用畜舎、バンガーサイロ及び詰所			
	その他	97	件	113,545,787	円	牧場用堆肥舎、農用地開発事業用機械整備工場フェンス等、資産除去債務			503,713,968
	(うち公益目的保有財産)								
	車庫	2	件	81,641	円	公社事務所用車庫			
	事務所	5	件	154,228,177	円	公社事務所			
	住宅	20	件	19,301,509	円	公社職員公宅			
	構築物	7	件	7,697,148	円	書庫等			
	その他	31	件	20,033,165	円	設備機器改修等			
	合計	65	件	201,341,640	円				
	農業開発機械								
	開発機械	1,069	台	309,189,408	円	農用地開発事業用機械			
	畜産機械	23	台	14,586,891	円	十勝育成牧場用機械			
	その他	1	台	1	円	除雪機			323,776,300

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
機械器具	工場器具 46 件 6,978,313 円	農用地開発事業用機械整備工場クレーン、溶接機、洗車機外	13,112,774	
	測量器具 40 件 2,980,547 円	農用地開発事業用測量機械外		
	その他 29 件 3,153,914 円	業務用無線機具外		
車輛運搬具	連絡車 55 台 3,414,933 円	事業、法人管理業務で使用している車両	7,396,907	
	運搬車 16 台 3,973,324 円	農用地開発事業で使用している車両(トラック)		
	オートバイ 2 台 8,650 円	十勝育成牧場で使用している自動二輪車		
什器・備品	事務用備品 21 件 837,240 円	事務所用書庫、机、椅子外	6,884,399	
	応接会議備品 10 件 386,246 円	事務所用応接セット、会議室用テーブル、椅子外		
	その他 20 件 5,660,913 円	出退表示器、顕微鏡外		
	(うち公益目的保有財産 2.7%) 187,600 円			
繁殖素牛	繁殖素牛 56 頭 13,775,041 円	十勝育成牧場が保有している繁殖肉用牛	13,775,041	
土地	整備工場用地			
	岩見沢市岡山町 5,000.00 m ² 17,935,714 円	農用地開発事業用機械整備工場用地	557,951,548	
	旭川市東鷹栖 7,766.00 m ² 48,958,900 円	同上		
	亀田郡七飯町 5,183.32 m ² 41,365,917 円	同上		
	苫小牧市あけぼの町 6,935.70 m ² 81,160,770 円	同上		
	葛西郡芽室町 12,000.19 m ² 165,498,800 円	同上		
	釧路市大楽毛 12,999.00 m ² 54,595,800 円	同上		
	北見市北光 19,105.00 m ² 15,898,066 円	同上		
	事務所用地			
	上川郡美瑛町 495.87 m ² 7,200,000 円	公社事務所用地		
	川上郡標茶町 1,544.16 m ² 9,628,723 円	同上		
	稚内市末広 801.55 m ² 15,412,650 円	同上		
	職員公宅用地			
	釧路市鳥取 650.61 m ² 16,097,500 円	公社職員公宅用地		
	釧路市昭和町 159.20 m ² 5,394,700 円	同上		
	標津郡中標津町 1,702.92 m ² 16,664,970 円	同上		
	稚内市緑 344.63 m ² 3,160,673 円	同上		
	その他用地			
	夕張郡由仁町 173,760.05 m ² 49,214,565 円	その他用地		
	野付郡別海町 161,708.00 m ² 9,763,800 円	同上		
(うち公益目的保有財産)				
事務所用地				
稚内市末広 801.55 m ² 15,412,650 円	公社事務所用地			
職員公宅用地				
釧路市鳥取 650.61 m ² 16,097,500 円	公社職員公宅用地			
釧路市昭和町 159.20 m ² 5,394,700 円	同上			
標津郡中標津町 1,702.92 m ² 16,664,970 円	同上			
稚内市緑 344.63 m ² 3,160,673 円	同上			
合計 56,730,493 円				
電話加入権		3,896,484 円	管理運営の用に使用	3,896,484
長期前払費用	担い手支援事業(農用地等貸付事業) 平成21年度 4,880,000 円	農地売買等事業に係る前払費用	38,269,024	
	草地改良費 33,389,024 円	十勝育成牧場に係る草地整備費用を管理		
長期未収収益 未収管理料	農場リース乳用牛貸付事業 平成25年度 10,639,085 円	農場リース乳用牛貸付事業に係る未収管理料	31,915,218	
	平成26年度 8,384,361 円			
	平成27年度 5,909,214 円			
	平成28年度 6,982,558 円			
	優良肉用牛貸付事業 平成26年度 93,607 円	優良肉用牛貸付事業(補助型)に係る未収利息		
平成27年度 43,220 円		1,777,533		
平成28年度 1,640,706 円				
公社優良肉用牛貸付事業 平成24年度 445,679 円	公社優良肉用牛貸付事業に係る未収利息	445,679		
		<長期未収収益>	34,138,430	
出資金(外部出資)	5 件 11,980,000 円	管理運営に係る出資金	11,980,000	
差入保証金		借上公宅に係る敷金	7,745,640	
農地等現物出資		農業生産法人出資育成事業に係る保有	232,693,000	
法人金銭出資		農業生産法人出資育成事業に係る保有	2,750,000	
就農支援資金貸付金		就農支援資金貸付事業に係る貸付金	2,790,326,000	
就農支援資金貸倒引当金		就農支援資金貸付事業に係る貸倒に備えた引当金	-36,486,000	
長期未収金		補修支出の返還請求債権	111,089,190	
		事業に係る分割納入	11,400,000	
		公社牛48頭分	5,583,614	
貸倒引当金		長期未収金に係る貸倒引当金	-111,880,997	
		<その他固定資産計>	4,528,115,322	
固定資産合計			8,623,181,113	
資産合計			78,515,410,188	

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	1年内返済予定 長期借入金	担い手支援5年事業(売買円滑化事業) 全国農地保有合理化協会 200,294,000 円	農地売買等事業に係る1年内返済予定長期借入金 金 200,294,000
		担い手支援5年事業 全国農地保有合理化協会 4,420,900,060 円	同上 4,420,900,060
		担い手支援10年事業 全国農地保有合理化協会 3,419,532,180 円	同上 3,419,532,180
		担い手支援5年事業(農用地等貸付事業) 全国農地保有合理化協会 2,440,000 円	同上 2,440,000
		農業生産法人出資育成事業 北海道 14,744,000 円	農業生産法人出資育成事業に係る1年内返済予定 長期借入金
		全国農地保有合理化協会 11,415,000 円	
		北海道信連 本所 1,005,000 円	
		経営構造改革緊急加速リース支援事業 全国農地保有合理化協会 4,267,200 円	経営構造改革緊急加速リース支援事業に係る1年 内返済予定長期借入金 4,267,200
		農地耕作条件改善事業 北海道信連 本所 3,800,000 円	農地耕作条件改善事業に係る1年内返済予定長 期借入金 3,800,000
		就農支援資金貸付事業 北海道 433,312,893 円	就農支援資金貸付事業に伴う1年内返済予定長 期借入金 433,312,893
			<1年内返済予定長期借入金計> 8,511,710,333
		未払金	事業及び管理運営に係る未払金 500,368,525 <未払金計> 500,368,525
		諸預り金	住民税、社会保険料等 21,580,875 <諸預り金計> 21,580,875
		事業預り金	青年就農給付金事業に係る預り金 12,625,000 <事業預り金計> 12,625,000
		前受収益	海外派遣事業負担金等 10,740,891 機械センター地下タンク賃貸料 126,000 <前受収益計> 10,866,891
1年内家畜譲渡予納金	農場リース乳用牛貸付事業 平成25年度 33,098,760 円	農場リース乳用牛貸付事業に係る譲渡予納金 33,098,760	
	公社牛貸付事業 平成25年度 84,321,555 円	公社牛貸付事業に係る譲渡予納金 84,321,555	
	公社優良肉用牛貸付事業 平成24年度 41,334,956 円	公社優良肉用牛貸付事業に係るもの 41,334,956	
		<1年内家畜譲渡予納金計> 158,755,271	
工事補償引当金		農用地開発事業の工事補修に備えた引当金 49,674,000	
		農村施設整備事業の工事補修に備えた引当金 1,121,000 <工事補償引当金計> 50,795,000	
流動負債合計		9,266,701,895	
(固定負債)	事業借入金 合理化事業借入金	担い手支援5年事業(売買円滑化事業) 全国農地保有合理化協会 150,843,000 円	農地売買等事業に係る長期借入金 150,843,000
		担い手支援5年事業 全国農地保有合理化協会 25,619,904,920 円	同上 25,619,904,920
		担い手支援10年事業 全国農地保有合理化協会 22,433,238,600 円	同上 22,433,238,600
		担い手支援事業(農用地等貸付事業) 全国農地保有合理化協会 2,440,000 円	同上 2,440,000
	法人出資事業借入金	農業生産法人出資育成事業 北海道 130,989,000 円	農業生産法人出資育成事業に係る長期借入金
		全国農地保有合理化協会 73,270,000 円	
		北海道信連 本所 4,020,000 円	
	経構リース事業借入金	経営構造改革緊急加速リース支援事業 全国農地保有合理化協会 29,887,200 円	経営構造改革緊急加速リース支援事業に係る長 期借入金 29,887,200
	農村施設事業借入金	農地耕作条件改善事業 北海道信連 本所 11,400,000 円	農地耕作条件改善事業に係る長期借入金 11,400,000
	畜産振興事業借入金	優良肉用牛貸付事業 北海道信連 本所 804,125,863 円	優良肉用牛貸付事業に係る長期借入金 804,125,863
	就農支援資金 貸付事業借入金	就農支援資金貸付事業 北海道 2,748,213,425 円	就農支援資金貸付事業に係る長期借入金 2,748,213,425 <事業借入金計> 52,008,332,008
	家畜仮受補助金	優良肉用牛貸付事業 平成25年度 15,502,708 円	優良肉用牛貸付事業(補助型)に係るもの
		平成26年度 19,892,468 円	
		平成27年度 21,860,312 円	
		平成28年度 18,862,741 円	
公社優良肉用牛貸付事業 平成24年度 446,120 円		公社優良肉用牛貸付事業に係るもの	
平成25年度 1,050 円			
	<家畜仮受補助金計> 76,565,399		
家畜譲渡予納金	公社牛貸付事業 平成26年度 64,249,890 円	公社牛貸付事業に係るもの	
	平成27年度 25,148,208 円		
	農場リース乳用牛貸付事業 平成26年度 18,747,156 円	農場リース乳用牛貸付事業に係るもの	
	平成27年度 9,841,105 円		
	優良肉用牛貸付事業 平成25年度 64,557,000 円	優良肉用牛貸付事業(補助型)に係るもの	
	平成26年度 29,384,000 円		
	公社優良肉用牛貸付事業 平成25年度 3,475,000 円	公社優良肉用牛貸付事業に係るもの	
	<家畜譲渡予納金計> 215,402,359		
担い手対策前受金	長期育成事業 7,542,120 円	農地売買等事業に係るもの	
	担い手支援5年事業 578,078,390 円		
	担い手支援10年事業 3,206,453,220 円		
	<担い手対策前受金計> 3,792,073,730		
円滑化担い手対策前受金	担い手支援5年事業(売買円滑化事業) 12,622,070 円	農地売買等事業に係るもの 12,622,070 <円滑化担い手対策前受金計> 12,622,070	
役員退職慰労引当金		役員に対する退職慰労金の支払いに備えたもの 16,619,500 <役員退職慰労引当金計> 16,619,500	

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
退職給付引当金		職員に対する退職金の支払いに備えたもの	1,376,634,000
		<退職給付引当金計>	1,376,634,000
資産除去債務		土地の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務等による撤去費用見積額	33,063,845
		<資産除去債務計>	33,063,845
寄託金	開発基金 453,600,000 円	寄託された資金の返還に備えたもの	
	農業経営基金 100,000,000 円	同上	
		<寄託金計>	553,600,000
固定負債合計			58,084,912,911
負債合計			67,351,614,806
正味財産			11,163,795,382

平成 28 年度農地中間管理事業にかかる評価意見書

平成 28 年度事業の概要

(1) 事業の大幅な減少

農地中間管理事業で機構が借り入れた 28 年度の農地は、延べ 195 件・1,278.2ha であり、当初の計画面積 9,000ha に対し 14.2%の達成率にとどまった。また、機構から貸し付けられた農地は延べ 194 件・1,370.0ha で、当初計画面積 8,710ha に対する達成率は 15.7%である。27 年度は借り入れが 796 件・9,533ha、貸し付けが 491 件・9,475ha だったので、面積では前年度実績対比 7 分の 1 という大幅な減少を示すことになった。

(2) 酪農関連への貸付先割合が低下

貸付先の内訳を見ると、個人が 127 件・624.1ha、法人が 55 件・745.9ha で、法人への貸付面積の割合が全体の 54.4%を占める。27 年度の法人への貸付面積割合は 75.9%であったので、大きく低下した。また、27 年度は法人貸付面積のうち TMR センターが 50.1% (3,601ha) を占めていたが、28 年度は 12.4% (92.2ha) にとどまった。経営作目別に貸付先の割合(面積)を見ると、稲作 33.5%、畑作 23.7%、酪農 33.9%である。TMR センター 6.7%を加えると酪農関連が 4 割に達するが、そのシェアは前年に比べ 27 ポイント低下した。

(3) 契約期間が若干短縮化

機構の借入先(実件数)は法人 1 件と個人 186 件であり、個人借入先の平均年齢は 67.9 歳(27 年度 67.2 歳)である。他方、貸付先の個人の平均年齢は 52.3 歳(27 年度 51.0 歳)である。借入先・貸付先ともに個人の平均年齢は前年並みで、農地中間管理事業を通じて若い世代に農地が移動している。

1 件当たりの平均面積は借り入れが 6.6ha、貸し付けが 7.1ha である。27 年度の 1 件当たり平均面積は借り入れが 12.0ha、貸し付けが 19.3ha だったので大きく減少した。貸付前後に貸付先の平均経営面積がどのように変化したのかを見ると、個人が 38.0ha から 42.9ha に、法人は TMR センターが 389.6ha から 408.0ha に、TMR センター以外は 81.1ha から 94.2ha に拡大した。経営体全体の平均面積は 59.5ha から 67.0ha へと 12.6%の拡大がなされた。

賃貸借期間別の内訳を見ると、機構の借り入れについては 27 年度までは 10 年ないし 10 年超であったが、28 年度は 10 年が 90.8% (27 年度 96%)、10 年超は 8.1%で、わ

ずか（1.1%）ではあるが、10年未満のケースが現れた。貸し付けについても、27年度は10年ないし10年超が94.3%を占めたのに対し、28年度は90.0%と、契約年数が若干短くなった。

（４）事業の評価

目標を達成した27年度から一転して28年度の農地中間管理事業は目標を大きく下回ることになった。事業の実績が低調であった最大の原因は28年度に行われた制度変更、すなわち機構集積協力金の集積対象面積（対象者）が28年度から新規集積面積（非担い手に限定）のみに対象が狭められたことにある。農地の出し手側から見た本事業の最大のメリットである機構集積協力金の配分基準が大幅に見直されたために、公社による農地の借り入れ面積が減少したのである。

もともと担い手の農地集積率が高い本道は、農地の出し手も担い手であり、農地の移動は担い手から担い手への動きにならざるを得ない。このような特徴をもつ本道において、28年度の制度変更は事業への取り組みに大きな影響を与えた。

非担い手から担い手への新規集積面積は27年度が642haで、借入面積合計の6.7%を占めていたのに対し、28年度は174.9ha、13.7%であった。借入面積合計に占める割合が上昇したことよりも新規集積面積の実数が大幅に減少したことに注意を向ける必要がある。なぜならこの動きに機構集積協力金の制度変更が直接影響したわけではないからである。

重要な点は、本道では「非担い手→担い手」の農地移動が、その部分だけをピックアップする形で進展する状況は考えにくいということである。過去の農地中間管理事業では、地域集積協力金や耕作者集積協力金の制度を活用して協業経営法人やTMRセンターに農地を集積し、効率的土地利用の体制を確立する取り組みが進められてきた。このような農地集積の主要部分は「担い手→担い手」の農地移動であり、「非担い手→担い手」の農地移動はその一部として含まれるのが実際である。そのため、「担い手→担い手」の農地移動が低調になると「非担い手→担い手」の農地移動も縮小せざるを得ないのである。

さて、本道における農地集積の全体像を見る場合、機構の特例事業としての売買事業で買入れた実績も考慮する必要があり、28年度は5,908haとなっている。特例事業等を加えて本道において担い手の規模拡大に直接繋がる年間の権利移動面積の合計を積算すると32,000ha程度になり、そのうち約4割程度が売買、6割程度が賃貸借によるものと考えられる。

農地中間管理事業に対する受け手側の期待は高い。借入希望面積が約9万haであり、しかも増加する傾向が認められる。このような底堅い需要に応え農地中間管理事業の実績を増加させるには、当事業以外のルートによる賃貸借面積を如何にして機構に取り込むかが課題となる。

ただし、機構集積協力金制度の見直しにより、事業スタート時に設定した年間9,000haの目標達成は困難と思われるので、実現可能な農地中間管理事業の年間目標面積を設定すべきである。

課題1－引き続き出し手の掘り起こし

農地中間管理事業において取り組むべき第1の課題として挙げられるのが、農地の需要と供給のギャップの縮小である。

農地の借り受け（機構からすると貸し付け）に対する応募状況を見ると、農業振興地域を抱える全道175市町村のうち123市町村から8,178件・89,343haの借り受け希望が寄せられた。前年度より件数で647件、面積で2,078ha増加しており、担い手の規模拡大意欲が旺盛なことがうかがえる。これは貸付目標面積8,710haの10倍の大きさである。重複して借り受け希望を出す者も含まれるので、若干割り引いて受け止める必要があるが、実際に貸借が成立したのは1,370ha、借り受け希望面積の1.5%に過ぎないので、需給ギャップは相当大きいと見なければならない。

借り受け希望面積は北海道の年間の農地移動面積（約3.2万ha）の約3倍に相当し、これを満たすことは困難だが、農地供給を増加させ需給ギャップが縮小すると、農地利用がより効率的になり、コストの削減や所得の増大に繋がることが期待される。

事業開始から3年が経過し、機構と市町村・JA・農業委員会等が共催で会議・研修会等を実施し、広報活動を行っている。地域農業のリーダーが多い農地の受け手については、借り受け希望件数・面積から見ても事業が浸透していることがうかがえる。他方、農地の出し手となる農地所有者に対しては会議・研修会を通じた広報活動だけでは浸透しない恐れがある。出し手の掘り起こしを意図して北海道新聞、日本農業新聞、農業雑誌などを活用した広告宣伝を行っているが、事業制度の仕組みやメリットについて農地所有者の理解を得るには広報活動の一層の強化が求められる。

今後も集積協力金制度や固定資産税の減免措置の活用、29年度から本格実施する農地台帳や地図情報も活用できる農地情報電子地図システムの高度利用、「人・農地プラン」の検証活動、更には農地整備事業との連携を図りながら、出し手をターゲットに据えた広報活動ときめ細やかな掘り起こし対策が求められる。また、農地バンクとしての公社の借り受け面積ストックの拡大を図るため、既存貸借の契約期間満了案件について、農業委員会等と連携を密にしながら農地中間管理事業への誘導をはかることも有効な手法である。

課題2－地域別実態に応じた農地集積率の向上

北海道における担い手への農地集積率は前年より1.7ポイント向上して90.2%となり、全国平均54.0%を大きく上回る。しかし地域別に見ると農地集積率の向上を図るべき市町村も存在しており、農地集積率目標95%の達成に向けてその底上げが求めら

れる。また、大型経営であっても後継者不在のケースがあること等を考慮し、既に集積率が目標に達している市町村においても、様々な事態に対応できるように農地の受け手を育成・確保することが肝要である。

このため、北海道や市町村等の関係機関・団体とも連携を密に、農地の出し手や受け手に対する個別具体のアプローチなどを含め、地域の将来を見据えたきめ細かい戦略・方針をもって事業の推進をはかることが重要になる。

課題3－農地整備事業との連携による着実な実行

農地耕作条件改善事業やT P P 関連農業農村整備対策の実施にともない、水田地帯を中心に重点実施地区を設定している。しかし重点実施地区ではいまだ農地中間管理事業の顕著な実績が現れていない。その原因を究明しつつ、事業推進する上で地区ごとの問題点を取り除くことによって、これら地区における利用を推進することが重要である。29 年度には農業者の費用負担や同意を求めない新たな基盤整備事業が創設される予定となっている。道の農地整備部局や土地改良団体等との情報共有と連携を図りながら、新たな事業を活用して着実に実績を積み上げることが求められる。

課題4－効率的な事業推進体制の見直し

農地中間管理事業は、機構（公社）が定める方針のもと、本所（農地中間管理事業本部）・支所が一体となり、市町村、農業委員会、J A 等との密接な連携・協力により推進するものであり、言い換えれば、地域の将来像を共有することがこの事業の成果に結びつくことになる。事業を執行する推進体制については、26 年度の事業初年度目の計画未達を受け、27 年度は2名増員して体制強化を図り、28 年度も同様の体制で進めた。地域の状況に対応するための効率的な事業推進体制に向け、不断の見直しが必要である。

28 年度の事業の収支は、総収入 709,825 千円、総費用 731,901 千円となり、差引 22,076 千円の赤字である。その主な原因は、前年同様、①農地の借入料と貸付料が同額であること、②事業収入のほとんどが国庫補助金である半面、国庫補助金の対象とならない経費が増加したことにあるが、加えて③9,000ha の年間目標借入面積に対して 1,278.2ha と大幅に事業量が減少したため、予定していた手数料収入を得られなかったことが影響した。平成 31 年度に単年度収支の改善が達成される見通しであったが、年間目標面積の設定見直し（4,700ha）により 2 年間遅れ、収支改善の達成は 33 年度にずれ込む見込みである。

課題5－制度改正を見据えた準備

28 年度は、この事業の最大のメリットであった出し手に対する機構集積協力金が新規集積面積のみの積算に見直されたことから、27 年度の計画達成の勢いが減退し、苦戦の 1 年となった。

事業発足から4年度目を迎える29年度は当事業の意義が問われる正念場となる。加えて、今後の事業制度の改正を見据え、関係機関・団体の協力を得ながら国に対して提案を行うための準備に取りかかる1年となる。事業の経過と実績を検証しながら北海道における農地集積のあるべき方向を見定め、安定的な制度の設計に向けて検討を進める必要がある。

以上、平成28年度農地中間管理事業の実績と課題について検討した。農地の借り受け希望面積が約9万haある一方、事業に対する出し手の関心を高めることに成功していないことから、出し手に対するアプローチが事業実績を左右する最重要ポイントになる。関係機関・団体と緊密な連携をはかりながら、目標の達成に向け、組織の総力を発揮することを期待したい。